

食品新聞

発行所 食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪府北区南森町2-3-30
電話 06(6361)4972
東京都中央区新富1-1-1
電話 03(3552)3756-4031
名古屋市中区丸の内2-10-11
電話 052(221)5391
支店 広島・福岡
食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
創刊 1947年

自然の恵みを味わって、皆様に届けたい。

青のり

青のり専門問屋 株式会社カメセ水産
〒104-0061 東京都中央区銀座7-14-8
TEL:03-6367-2300
FAX:03-6367-2300

きょうの主な内容

「売上調整、収益は厳しく」
業務用冷蔵特集 4頁5面
「重要な日常業務の徹底」
食中毒防止対策特集 6〜7面

安納芋

小豆島の味香り

安田食品工業株式会社
電話0879-822225

大豆関連団体

不検出に異議あり

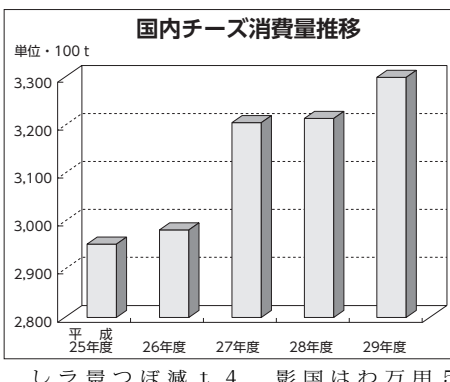
NON-G表示で要望書提出へ

主要大豆関連団体は今夏中、消費者庁へ対して連名で要望書を出す。消費者の「遺伝子組換え表示制度に関する検討会」において、「遺伝子組換えでない」と表示認められる条件を現行制度の「5%以下」から「不検出(0%)」に引き下げる方向性が示された。これを受け、主要大豆関連団体は表示条件の「不検出」への引き下げに反対し、再検討を求めた。

消費者庁は昨年4月、遺伝子組換え大豆の表示に関する検討会を立ち上げた。検討会では、遺伝子組換え大豆の表示に関する条件を「5%以下」から「不検出(0%)」に引き下げる方向性が示された。これを受け、主要大豆関連団体は表示条件の「不検出」への引き下げに反対し、再検討を求めた。

平成29年度 チーズ消費量 3年連続過去最高

ナチュラルチーズが牽引



平成29年度の国内チーズ消費量は前年比5.3%増の335万8千344トンとなり、3年連続で過去最高を更新した。ナチュラルチーズ(以下、NC)が9.1%増の20万8千671トンと牽引、NCは輸入量8.3%増の26万6千980トン、うちPC原料用を除いた分は10.6%増(18万4千317トン)と大きく成長した。健康機能

ナチュラルチーズ(以下、NC)が9.1%増の20万8千671トンと牽引、NCは輸入量8.3%増の26万6千980トン、うちPC原料用を除いた分は10.6%増(18万4千317トン)と大きく成長した。健康機能

業務用プレミックス 事業、海外展開を加速

ベトナムに新工場建設へ

日清製粉グループは、19年度の稼働を目指して、ベトナムに新工場を建設する。ベトナムは高い労働力を背景に、海外向けの加工食品生産基地として注目され、業務用プレミックスの需要が拡大している。日清製粉グループは、ベトナムに新工場を建設し、海外展開を加速させる。新工場は、ベトナムのホーチミン市郊外に建設される。新工場は、業務用プレミックスの生産に特化した工場となる。新工場は、19年度の稼働を目指して建設される。新工場は、ベトナムのホーチミン市郊外に建設される。新工場は、業務用プレミックスの生産に特化した工場となる。新工場は、19年度の稼働を目指して建設される。



サッポロビール新RTD

サッポロビールは、7月18日の会見で、高島忠生社長が「サッポロビール」のRTD(Ready To Drink)の新製品を発表した。新製品は、サッポロビールの味わいをそのまま楽しめる。新製品は、サッポロビールの味わいをそのまま楽しめる。新製品は、サッポロビールの味わいをそのまま楽しめる。

大人の缶チューハイ

「研ぎ澄まして積極投資へ」

サッポロビールは、7月18日の会見で、高島忠生社長が「サッポロビール」のRTD(Ready To Drink)の新製品を発表した。新製品は、サッポロビールの味わいをそのまま楽しめる。新製品は、サッポロビールの味わいをそのまま楽しめる。新製品は、サッポロビールの味わいをそのまま楽しめる。

季節のこだわり素材を使った カット済みケーキ

鹿兒島県種子島産 安納芋
青森県弘前産 ふじりんご果汁

カット済みケーキ 安納芋 (鹿兒島県種子島産安納芋使用)
低温貯蔵した安納芋を石釜でじっくり炭火焼きし、おいしい焼き芋に

カット済みケーキ りんご (青森県弘前産ふじりんご果汁使用)
恵まれた環境で育った摘みとったりんごのおいしさをまるごと果汁に

味の素冷凍食品株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座7-14-13 日土地銀座ビル TEL:03-6367-8617
https://www.ffa.ajinomoto.com/